

地域医療連携室だより

ひまわり

vol 43

地域医療支援病院



独立行政法人地域医療
機能推進機構

宮崎江南病院

院長 白尾 一定

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985-51-7575
FAX.0985-53-8821

暑中お見舞い申し上げます。先生方におかれましては、暑さに負けずお元気にご活躍のことと存じます。

昨年12月より宮崎江南病院地域医療連携室に看護師長を配置しました。地域医療支援病院として、地域の先生方の信頼と要望に応えられるよう、また地域包括システムの構築に取り組み、地域住民の方々が安心して暮らせる地域づくりに貢献できることを目指して、日々活動しております。

これからも皆様に選んでいただける病院づくりに職員一同努力して参りますので今後ともご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成27年7月吉日

看護部長 土居早苗

理念

私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切にし地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します。

キャッチフレーズ

安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院

地域医療を支える

The region is supported



あけぼの診療所

院長 國枝 良行

〒889-1703
宮崎市田野町あけぼの2丁目5-1
TEL 0985-74-5600
FAX 0985-74-5601



これまで学んだ医学知識・医療技術を地域に提供したく、平成26年10月に宮崎市田野町に「あけぼの診療所」を開院いたしました。診療所の名前は単に地名に由来しております。内科・外科・精神科を標榜していますが、何が専門なのかわからないと言われることも度々です。外来診療では一般内科を中心に、外傷などの小外科、うつや認知症などの精神科医療も行っております。また、在宅医療、緩和医療にも力を入れています。

元々は宮崎大学第1外科の出身で、専門は消化器外科学です。癌治療を主体とした手術、検査、化学療法などに外科医として携わってきました。関連病院をローテートしているなかで、消化器外科だけでなく、一般外科・内科は当然として、麻酔・救急科、放射線科、呼吸器科など、様々な関連病院を廻ってきました。外科医はなんでも出来なくてはならないという、臨床研修医制度が制定される前の古い時代の医局人事の最後の世代です。

関連病院では、大学ではあまり診なかった多くの癌終末期の患者さんを診療させていただきました。緩和医療につよく興味を

抱くようになり、外科専門医取得後は緩和医療の道に進むことを考えました。緩和医療の中でも特に担癌患者の精神症状に興味を抱くようになり、精神科医の友人に相談しましたところ、サイコオンコロジー（精神腫瘍学）を勧められ、大学院での研究テーマとしました。当時の教授にわがままを言い、精神科病院に勤務させてもらい、精神保健指定医、精神科専門医を取得することができました。外科専門医と精神科専門医を所持しているのは全国でも3人しかおらず、かなり珍しい経歴であるようです。こうした経歴から標榜科目を内科・外科・精神科としました。

在宅医療、特に在宅緩和医療をライフワークとしており、現在でも施設や在宅に訪問診療・往診に伺っております。江南病院をはじめ、機関病院の先生方・スタッフの皆様には今後もお世話になることが多いと思います。新米開業医で至らぬ点ばかりですが、地域の皆様のため精一杯頑張りますので、どうか宜しくお願い致します。

今回は臨床工学室です。

臨床工学技士とは、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う専門職で、メディカルエンジニアを略称してMEと呼ばれています。臨床工学室には現在9名が在籍しています。臨床工学技士の仕事は大きく分けて、患者様のベッドサイドで行う臨床業務と医療機器管理業務があり、具体的には、透析治療全般と透析装置や輸液ポンプの点検・メンテナンス管理を行っています。今年度からは、手術室内の機器管理を開始し、県下では最新の多用途血液浄化装置を導入し24時間以上継続して行うCHDF療法(持続透析血液濾過法)等を実施しています。また、質の高い医療を提供できるよう積極的に認定資格の取得を目指しており、透析技術認定士1名、透析技能2級検定認定4名、第2種ME技術実力検定認定8名が有資格者として日々、専門知識の充実やレベルアップに励んでおります。

今後とも医師、看護師と協力して、連携を図りながら臨床工学技士スタッフ一同、安全な治療が提供できるように努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

臨床工学室 主任臨床工学技士 淀川 菜穂子



透析室に直通 FAX を設置しました。▶▶▶ FAX 番号 0985-72-8820

研修会の実施報告

Information

第12回 宮崎江南病院 NST 専門療法士認定研修が行われました！

当院において、平成27年6月2日(火)～6日(土)にNST専門療法士認定研修を行いました。県内外から各職種(薬剤師・看護師・管理栄養士・検査技師)32名の参加があり、講義および実習が行われました。



新任医師紹介

Newly-appointed doctor introduction

よろしくお願ひします



下之菌 将貴

専門分野

消化器外科

鹿児島からやって来ました。頑張ります。よろしくお願いします。



地 域 包 括 ケ ア

平成26年12月より「地域包括ケア担当」として医療連携室に配属になりました新町です。10年以上訪問看護ステーションで勤務していたので、久々の病院内勤務に戸惑うことも多い毎日です。

地域包括ケアといってもまだピンとこない方がほとんどだと思います。私も近所付き合いもままならないこの社会で、10年後、20年後を見据えた地域連携が果たして機能化していけるのか疑問でした。ただ、「始めなければ何も変わらない」とし、実際に活動を始めてみると地域にたくさんの連携の芽がめばえていることを発見しました。地域の多職種はみんな連携のための交流会や勉強会に積極的で、病院で企画した交流会にも多数の参加があります。赤江北地区においては「こねっと」という医療と介護の連携を考える会を立ち上げました。大淀地区の自治会にも当院栄養士が招かれ、認知症の勉強会など行っております。

院内でも地域包括ケア・医療連携委員会が中心となって、院内部署間、職種間の連携の強化や健康栄養手帳の作成、連携事例の検討など進めております。これからこの連携の芽がたくさん場所で育ち、大きな幹になってみんなで支えあえる住みやすい地域になるよう少しづつできることから取り組みます！

地域の相談窓口としても頑張りますので、これからもよろしくお祈りします。

地域医療連携室 新町智穂



他職種交流会の様子



「こねっと」企画・運営委員のメンバー

研修会のご案内

Information

江南医療連携の会 症例検討会

8月 お休み

9月/9月10日[㊦] (内科・形成外科・放射線科)
臨床現場で役立つセミナーは感染症編です。コメディカルスタッフの皆様も是非ご参加下さい。

10月/10月8日[㊦] (内科・外科・放射線科)

江南医療連携の会 特別講演会

11月14日[㊦]

※研修会の詳しい内容につきましては、またご案内いたします。

出前講座「ひまわりの種」 Open

当院の認定看護師による出張出前講座

まずは、皮膚・排泄ケア認定看護師が皆様の病院・施設へお伺いします。少人数からの勉強会OK！
疑問、お困りの事へお答えしていきます。

いつでも、お気軽にお問合せ下さい。

〈内 容〉 褥瘡ケア、ストーマケア、オムツの悩み
失禁による皮膚トラブルなど皮膚と排泄に関すること

お問合せ（お申込み）

JCHO 宮崎江南病院 地域医療連携室
直通電話 (0985) 52-4004 直通FAX (0985) 51-1479
E-mail renkei@miyazaki.jcho.go.jp

ご意見・お問い合わせ

宮崎江南病院

宮崎市大坪西1-2-1 TEL.0985-51-7575 FAX.0985-53-8821
<http://miyazaki.jcho.go.jp/>

地域医療連携室

TEL.0985-52-4004 FAX.0985-51-1479 (地域医療連携室直通)

E-mail : renkei@miyazaki.jcho.go.jp(地域医療連携室のアドレスが変更になりました) 室長 白尾 一定 担当 佐藤 貴代